

平成 18 年 3 月 9 日

各位

株式会社早稲田情報技術研究所
代表取締役社長 加藤 浩一

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 CEO 松本 大
(コード番号 8698 東証第一部)

プログラム運用企画運営会社トレード・サイエンス(株)への出資について

株式会社早稲田情報技術研究所(以下「WIT」)とマネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社(以下「MBH」)は、プログラム運用を用いた投資助言サービス及び資産運用サービスを提供することを目的として設立される新会社に共同で出資することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

WITは、早稲田大学を出資母体とする、先端情報科学分野の基礎研究成果を産業界にスムーズに移転・事業化するための応用研究所であり、平成16年より株式運用プログラムの開発競争「カブロボ・プログラミング・コンテスト(<http://www.kaburobo.jp>)」を実施してまいりました。このコンテストにおいては、WITがオープンなプログラム開発環境を一般に提供し、その運用プログラムによる仮想売買の成果をコンテストの形で一般に公開しております。学生や研究者等の学術関連者からプロフェッショナルまでの幅広い層が参加しており、個人の知の集積による高度な株式運用プログラムの開発が実現されております。

新会社は、WITが持つ情報技術を活用し、株式運用プログラムを用いた運用業務を事業化していくことを企図して設立されるものです。またMBHとしても、個人向けにテーラード型の資産運用アドバイスを可能にする有力な一手法としてプログラム運用の可能性を探る為、今般の出資決定に至ったものであります。

プログラム運用とは、市場の値動きやその他のファンダメンタルズなどを基に、予め設定したアルゴリズム(プログラム)によってシステムが自動的に売買の判断から注文の執行までも行う運用手法です。

なお、設立する予定の新会社の概要並びに提供するサービスのイメージは、次頁の通りです。

